

事業名	笛吹神社および笛吹地区の民話・神話発掘
実施した場所	葛城坐火雷神社（笛吹神社）社務所
参加者・実施回数等	住野秀樹 持田照久 持田八重 住野桂子 黒台ゆかり 前笛吹区 区長松田さん 実施回数 4回
実施した内容	<p>笛吹神社の成り立ちと、笛吹村の過去のお話、民話、昔行われていた笛吹神社のお祭り風景や、笛吹神社に祀られている神様等の情報を、持田宮司からヒヤリングによる聞き取り。</p> <p>また、笛吹地区の方に「民話」や「神話」がどれほど継承されているか聞き取り調査を行いました。</p> <p>別紙参照</p>
得られた結果	<p>民話どころか、神話、HPに記載した笛吹神社の基本的なことすら全員「知らない」「初めて聞いた」と言う、思わぬ反応が帰ってきました。</p> <p>地域に関する「無関心」が露骨なかたちで明白に。</p> <p>継承されるべきものが全く継承されていない事実が判明。</p>
今後の展望	<p>ほぼ0からの状態のスタートですので、自分たちの地域にいかにか素晴らしいモノが埋没しているか、まず地域住民に知って頂き内外に発信することにより、外からも</p>
事業を実施してみた感想など	別紙参照

9月19日

○笛吹神社にて、笛吹地区・神社周辺の神話や民話・言い伝えの聞き取り

(笛吹神社)

- ・笛吹神社の主神、天香山命(アメノカグヤマノミコト)と、火雷大神(ホノイカヅチノオオカミ)の主な概要。(※HPに掲載)
- ・笛吹神社の生い立ち。(2000年以上の歴史のある神社であること。)
- ・笛吹神社のお祭りの概要。(おんだ祭り・夏越祭・秋季御礼祭)

(周辺地区)

- ・薬種山の話。(現在田地になっている場所に「薬種山」という山があり、薬草がたくさん採れたという言い伝えがある。)
- ・雨乞いの祭壇の話。(現在ゴルフの練習場がある奥に「雨乞いの祭壇」が現在も残っている。)
- ・八街さんのお話。(現在平岡地区にの南北に「八街さん(はっとさん)」という神様が祀られている。(※八街さんに関しては平岡区が笛吹の小字「遊ヶ岡」と呼ばれた時代のお話で、今回指定の笛吹神社外の話になると判断したため、次年度に詳しく調査し、HPに掲載予定です。)

11月8日・12月23日・3月13日

○笛吹神社にて、主神「天香山命」(アメノカグヤマノミコト)と、「火雷大神」(ホノイカヅチノオオカミ)に関する詳しい聞き取り。

- ・天香山命が使用したであろうと思われる「石笛」と呼ばれる楽器についての説明。
- ・火雷大神が本来の「雷神」という立ち位置と違う「宮中のかまど(炎)」の神として祀られているという事実と、解釈の聞き取り調査。

○天香山命と笛吹連(フエフキノムラジ)の聞き取り調査

- ・笛吹連は、現在の笛吹神社の基礎を作った人だった事と、持田家の先祖であるということ。
- ・笛吹連とは、崇神天皇より戦の功績で賜った名前だが、元より宮廷音楽を一族で奏でていた為、笛吹連の先祖である天香山命を「音楽の神様」(特に笛の神様)として祀ったのが笛吹神社の始まり。

※笛吹連に関しては、まだ聞き取り調査が不足している為、学芸員とのヒヤリング等を行い、精度をもう少し煮詰めていかなければならない。

(3月13日に元学芸員の吉村幾温先生に多数資料位を提供していただきました。笛吹連に関しては、次回掲載となりますが、

○笛吹神社のおみくじ

笛吹神社での聞き取り調査の中で調べ物をしていただいていたところ、江戸時代に使われていたものらしき「おみくじ」の版が大量に出てきました。

こちらに関しても、すべての版を探し出して復活できないか検討中です。

○笛吹地区区長・松田前区長その他2名に対し、現状どれくらい笛吹き神社及び、笛吹地区の民話や 伝承に関して、知っているか聞き取り調査を実施。

・「知らない」との回答。

笛吹神社の主神に関して名前は持田宮司に聞いたことはあるが、音楽の神様がどの神様かはわからないとの回答。

薬種山に関しては、全員が「薬師さん」として知っていたが、何故そこに祀られているか、何が祀られているのかはご存知ありませんでした。

○笛吹神社の夏祭り・秋祭りについて

現在笛吹神社の夏祭り(夏越祭)と秋祭り(秋季御礼例祭)について、旧忍海村の各大字より、手持ちの提灯や12振り提灯を出して、アカペラで「伊勢音頭」を奉納しているが、昔は笛のおはやしや太鼓を叩いて盛大に盛り上げたと言われています。

(継承されなかった伝統。)

※これについては、復活できないか、おはやし等の資料がないか調査中。

○笛吹地区の小字について

笛吹地区には「馬場」や「的場」と呼ばれる小字があり、これは昔笛吹地区のお祭りの一つとして、各地より馬で繰り出し「流鏝馬」(やぶさめ)を行っていたという事実があります。(生活の近代化とともに失われてしまった伝統。)

○その他活動

今回は笛吹地区限定ということで認可をいただきましたが、想像以上に伝承の継承が出来ていなかったため危機感を感じ、一番興味のあった太田区の「海積神社」に伝

わる「太田のボロソ」について、太田区の4名（西川利典様・西川孝彦様・西川恭正様・伏見様）に聞き取り調査を行いました。

結果、全員が60歳を超えているにもかかわらず「ボロソ」という言葉も、神社に関しての伝説も「全く知らない」「聞いたこともない」という結果に終わりました。

ただし、もう少し年齢が上の世代（昭和一桁～昭和10年代前半の方）からは「知っている。」という情報があったと、西川恭正様より後日連絡がありました。

■事業を実施してみた感想など

本事業を実施してみた結果、改めて、民話や伝承と言ったモノが伝承・継承されていないという結果に驚きを覚えました。

昔は普通に語り継がれてきた地域の「昔話」が、経済発展の名のもとに置き去りにされ、風化しているのが現状で、今語り継がないと、今後継承されていかないモノや消え去ってしまう物が殆どであると実感しました。

確かに「図書館に行けば調べられる。」と言われてしまうかも知れませんが、今後インバウンド等で海外からのお客様が増えていくであろう時代において、地域の「神話」や「民話」と言った物を語り継いでいかないのは、非常にもったいないことであると考えます。

実際、葛城市外・奈良県外の方々からは、特に「葛城」という地は「神話の故郷」「日本の始まりの場所」として注目を集めています。

（葛城市の伝承に関しても、県外の方の方が詳しい場合もあります。）

■今後の活動展開として

今後の活動としては、神社仏閣を中心にした「神様」や「神話」に関するお話を中心に、地域の「神話」再発掘していくことが先決であると考えます。

まず、葛城市には有人・無人合わせて多くの式内社があるにもかかわらず、それらが一般の市民には殆ど認知されておらず、そこにどんな神様が祀られているのか、その神様は何を司っているのか、全くと言っていい程知られていないというのが現状です。

今後、これらの神社の情報を洗い出し、インターネットを使って魅力を伝えられるよう、写真やイラストを交えながら広く配信、また、笛吹神社の活性化等にも重点を置き、それらを彩る活動を続けていきたいと考えます。

興味を持って頂くには、まずは「知って頂く」ということが最重要であり、地域住民の方々にも再度広く知って頂くことこそが、今後の葛城市の観光産業発展に関しても、最も大切なことであると考えます。

情報を発信することで、葛城市民が全員当たり前のように「知っている」という状態を作れる事を目指して、今後も活動を続けていきたいと思えます。

葛城奇鬼妖神

[Home](#)[寺社仏閣](#)[神話](#)[民話](#)[イベント情報](#)[グッズ販売](#)[寺社仏閣](#)[神話](#)[Home](#) > [一覧ページ](#) > [天香山命\(アメノカグヤマノミコト\)](#)[民話](#)

天香山命(アメノカグヤマノミコト)

[イベント情報](#)[グッズ販売](#)[グッズ注文](#)[お問合せ](#)

奈良県葛城市笛吹にある「葛城坐火雷神社(カツラギニイマスホノイカズチジンジャ)」に祀られる主神の一柱。天照大神の孫神である饒速日尊(天火明命)と、天道日女命(あめのみちひめ)との間に生まれた天照大神の曾孫神です。「稲や農耕を司る神」や「油田を司る神」等諸説ありますが、葛城坐火雷神社では、当時宮廷音楽や祭事・神事の雅楽を奏でていた「笛吹連(フエフキノムラジ)」の祖先の神とされ、音楽の神とされています。特に音楽を志す人にご利益がある神様とされています。

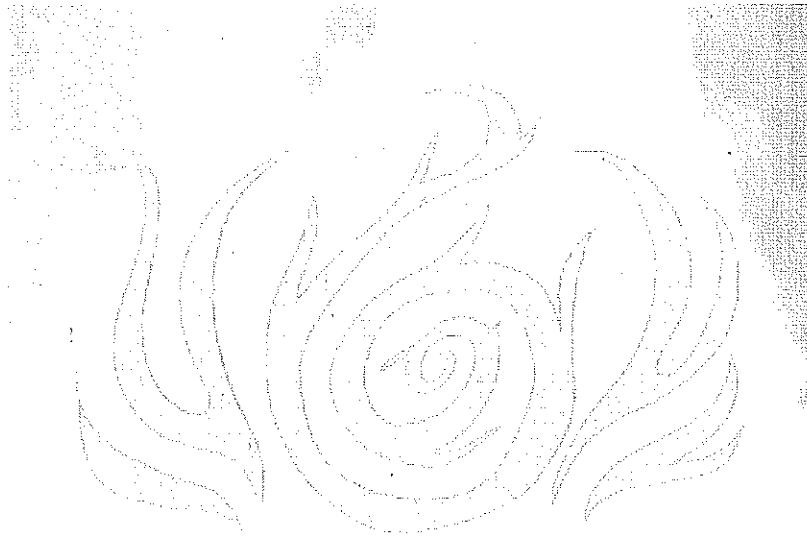
[<<戻る](#)[Home](#)[寺社仏閣](#)[神話](#)[民話](#)[イベント情報](#)[グッズ販売](#)[グッズ注文](#)[お問合せ](#)

葛城奇鬼妖神

[Home](#)[寺社仏閣](#)[神話](#)[民話](#)[イベント情報](#)[グッズ販売](#)[寺社仏閣](#)[神話](#)[民話](#)[イベント情報](#)[グッズ販売](#)[グッズ注文](#)[お問合せ](#)[Home](#) > [一覧ページ](#) > [火雷大神\(ホノイカツチノオオカミ\)](#)

火雷大神(ホノイカツチノオオカミ)

葛城坐火雷神社の主神の一柱。火雷大神(ホノイカツチノオオカミ)は「雷神」です。雷の恐怖と脅威は、落雷によって毎年犠牲者がでていることで理解でき、現代の私達以上にはるかに恐れられていたでしょう。また、雷は大量の雨を降らせて地上を潤し、農作物を育む恩恵を持ち合わせます。火雷大神はこういった脅威と恩恵を併せ持つ性格の神とされます。また、民間信仰の雷神は鳴神(なるかみ) 雷電(らいでん)様とも呼ばれ、特に落雷が多発する地域でよく祀られているそうです。落雷から身を守ってくれる神であると同時に、稲作の守護神として信仰されています。また、葛城坐火雷神社(笛吹神社)では、火雷大神は宮中のカマドと例えられ「高貴な炎」を司る神とされています。山林の木に落雷の後発生した炎を意味したものと思われ、当時起こす事が困難だった火を一瞬で起こす事で「神の業」としたものと考えられます。主に農耕・雨乞い・料理に関係する方にご利益のある神とされています。

[<<戻る](#)

事業収支決算書

(団体名： 葛城奇鬼妖神会)

<平成29年度 収入の部>

(単位:円)

収入の内訳	予算額	積算内容 (詳しく記入してください)
市民活動支援補助金	158,232 円	補助金
収入合計		

<平成29年度 支出の部>

支出の内訳	予算額	積算内容 (詳しく記入してください)	
補助対象経費	イラスト CG 制作費	20,000 円	イラスト制作費用 (2点作)
	HP 制作費用	138,232 円	ホームページ制作費用
補助対象外経費			
支出合計	158,232 円		

※ この様式内に記載しきれない場合は、別紙資料を添付してください。